

教育最前線

連載 11

●京都府警察本部・いきいき運転講座

高齢ドライバー自らが運転の問題点に気づき、話し合いながら解決策を見つけるプログラム

「いきいき運転講座」の内容(一例)

1 あいさつ

講座の目的を参加者に理解してもらう。また、必要があれば、参加者同士で自己紹介を行う。「いきいき運転講座」のリーダー用教材には、あいさつから説明にいたるまでの台本が入っているため、初めての方でも安心して講座の進行ができる。



2 交通脳トレ

「交通脳トレ」には、危険を予知する時に働く脳を活性化させるための「まちがい探し」や、脳全体を活性化させる「計算問題」などの課題が用意されている。この日は「まちがい探し」に挑戦。



3 自分の運転を振り返る

この日のテーマは「信号機のない交差点の通過(四輪車)」。ビデオでは、「生まれ」の標識がある交差点を通過するクルマの様子が映し出される。15台のクルマが通過するが、停止線の手前で一時停止して安全確認していると思われるクルマは1台もない。



その後、リーダー役は「止まらないと、どんな危険がありますか?」など、質問していく。これに対し、参加者は「車道の手前にある歩道から、歩行者や自転車が飛び出してきて、ぶつかるかもしれない」と答える。さらに、ある参加者からは「こういう場所で止まらないクルマがいるということ、子どもたちにも教える必要がある」という意見が出されるなど、活発な話し合いが行われた。



「いきいき運転講座」は、(社)日本自動車工業会が高齢ドライバー向けに開発した交通安全教育プログラムである。その特徴の1つは、講座に参加する高齢者がリーダー役となつて、自分たちの力で進行できるようにしていることである。

最初は「交通脳トレ」。脳機能を高めるトレーニングを組み合わせ、交通安全教育の学習効果の向上を目的としている。冊子「交通脳トレ3ヵ月」から選んだ「まちがい探し」などの問題が参加者一人ひとりに配布され、参加者



今回は伏見警察署の警察官がリーダー役、伏見地域交通安全活動推進委員12人が参加者となつて講座が進められた

動を展開している。京都府交通安全企画課交通安全教育係長の安田佐智子さんは「京都府警では高齢ドライバーの交通事故をなくそうと、各地域で活動するボランティア(地域交通安全活動推進委員)に交通安全教育のリーダー役になっていただきました」と活動の背景を語る。

次は交通安全トレーニングの中の1つ「自分の運転を振り返る」。ある交通場面における他のドライバーの運転をビデオで見てもらう。参加者はビデオを見る前後に、その交通場面で自分だったら、どのような運転をするか、自己評価(100点満点で採点)を行う。他人の運転を見て、参加者に自己評価技能(自分の姿を正しく評価する能力)を身につけてもらうトレーニングである。

京都府警の安田さんは「参加した方々が意見を発表しながら進行するという講習は、参加者自身の理解を深める教育手法として、たいへん有効だと思います。また、『交通脳トレ』は講習への集中力を高める効果があり、他の講習の導入にも応用ができると思います」と評価する。

京都府警では「いきいき運転講座」を平成21年3月末までに、7警察署で17回実施し、高齢ドライバーを含む584人が参加した。安田さんは「平成21年度は府内26警察署すべてで実施することが目標」と語る。

ポイント① 脳を活性化させながら交通安全を学ぶ

「いきいき運転講座」の交通安全トレーニングは、参加者が意見を発表したり、その意見を聞くという形で進行する。高齢者同士で話し合い、その中でいろいろなことに気づき、参加者自身に答えを導き出してもらうことがねらいである。

ポイント② 他のドライバーの運転を見て自分の運転を振り返る

ポイント③ 話し合いを通じて交通安全力を高める

「いきいき運転講座」について

「いきいき運転・いきいき生活」「危険予知トレーニング」「ヒヤリ体験を生かす」「自分の運転を振り返る」という4種類の交通安全トレーニングと、「交通脳トレ」で構成される高齢者向けの交通安全教育プログラム。

お問い合わせ・教材申し込み先:(株)コンセプト
受付時間:11:00~18:00(月曜~金曜、祝日を除く)
TEL:03-5770-7725 FAX:03-5770-7726

また、教材(ビデオ除く)は以下の自工会ホームページからダウンロードが可能。ビデオ(DVD)は自工会が運営する自動車図書館(東京都港区)で閲覧・貸出しを行っている。
http://www.jama.or.jp/safe/safety_elderly/



ご愛読者のみなさまへ
SJに対するご意見・ご感想をお寄せください! SJ編集部では今後の紙面づくりの参考にさせていただくため、みなさまのご意見・ご感想・ご要望を下記メールアドレスにてお待ちしております。
sj-mail@ast-creative.co.jp

●千葉県立船橋高等学校 教諭 南部 健さん

運転免許を持たない高校生は、ドライバーの心理状態を知らずに行動しています。S J 3月号の特集「私が実践している交通安全」には、どんな場面で、ドライバーがどんなことに気づけて運転しているのかといった声が掲載されていました。高校生にドライバー側の目線や考えを伝える資料として、この紙面の一部をピックアップして活用したいと考えています。

S Jは交通安全の情報を得る媒体として役立っています。以前、高校生向けの教材「セルフティアクション21」が紹介されていた時には、その紙面を読んで該当のホームページにアクセスしました。また、全校集会やロングホームルームで交通安全について指導する際のネタとして活用しています。今後は、ドキュメント・アイで高校生の違反の現状がわかる観察や、どういう手立てをするかと交通環境が改善されたかなどの好事例を積極的に掲載してほしいと思います。

●ホンダカーズ青森東 本社 市川清一さん

S J 3月号で青森モーターズスクールの安全教室の記事を読み、高校生に対して安全を伝える活動はとても大切な事だと思いました。

当社は、4月22日に、JAFの協力を得て中学校と高校でシートベルトコンビンサー体験出張安全教室を開催する予定です。また、クルマの制動距離の実験なども行い、クルマの特性を伝えて、交通安全に役立ててもらいたいと考えています。

日頃、販売店では、来店したお客様に安全アドバイスを行っています。例えば、冬道時はスピードを抑え、早めにブレーキをかけて下さいなどとお伝えしています。お客様や地域の人へのアドバイスの参考になるので、S Jには指導の様子がわかる具体的な記事を期待しています。